

ハウレーカ!

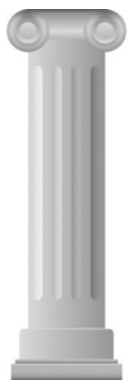
なるほど、そうか

第26回

米国のゴルフ振興と最新経済効果調査

— National Golf Dayに全ゴルフ業界が集結 —

喜田任紀



5月10日、ワシントンDCのキャピトル・ヒル、米国連邦議会議事堂に、全米からゴルフ関係者が集結しました(安心して下さい、決して武装して襲撃しに行つたわけではありません、てね)。ゴルフ業界のトップからゴルフコースを管理するコース管理者までが、ゴルフ振興活動の一つであるナショナル・ゴルフ・デーに参加するために集まつたわけです。仕切つているのは、American Golf Industry Coalition (米国ゴルフ産業連合会)です。

2020年は、新型コロナウイルスの影響で中止されましたが、2008年の第1回以降毎年、ワシントンDCでゴルフの普及と振興について、議員へのロビー活動だけでなく様々な取り組みを行っています。

そこで、今回は、米国ゴルフ産業連合会の組織構成と、米国でのゴルフ振興活動についてまとめるとともに、広報活動の一環として発表された最新のゴルフの経済効果も紹介します。

一味違う米国のゴルフ振興

米国で、USGAをはじめとしてPGAやコース管理者の団体GCASAなどの主要ゴルフ団体がまとまってゴルフの普及と振興に取り組んだ最初の一步は、記憶にあると思いますが、2000年に発表されたゴルフ20/20という戦略プロジェクトが切っ掛けです。仕掛けたのは世界ゴルフ財団。

米国のゴルフ振興の火付け役となったゴルフ20/20の内容は、ゴルフ業界の長期的



WE ARE GOLF

American Golf Industry Coalition

なビジョンと戦略を策定するためのプロジェクトの提案です。書かれていた内容は以下のようになります。

1. ゴルフの普及と参加者の獲得
2. ゴルフの魅力を広め、新たな

プレーヤーを獲得するための取り組みの実行。これには、若年層や女性、マイノリティなど、新しい層の参加を増やすためのプログラムやイベントの開催が含まれています。

2. ビジネスの発展…ゴルフ関連ビジネスの成長と繁栄を支援するための戦略を策定する。これには、ゴルフ施設の経営改善、マーケティング戦略の開発、ビジネスネットワーキングの促進などが含まれます。

3. ゴルフの価値の認識…ゴルフの社会的、経済的な価値が広く認識されるようにするための啓発活動を行う。これには、ゴルフの健康効果やスポーツとしての価値、地域社会への貢献などの情報発信やプロモーションが含まれます。

4. 持続可能性と環境保護…ゴルフ業界の持続可能性を確保し、環境保護に取り組むためのイニシアティブを推進する。ゴルフコースの環境管理やリソースの効率的な利用、生態系の保護といった点が挙げられています。もちろん提案だけにとどまらず実効性を担保するために、このプ



ロジエクトには、業界の幅広いステークホルダーが参加し、ゴルフの成長と持続可能性に関する課題や目標について議論がされました。当時、どのような対策が考えられたかという点、PGA・オブ・アメリカが主催するゴルフ振興キャンペーン「プレ

イゴルフアメリカ」や、大学でのゴルフ振興、ファーストティープログラムなどがあります。この最初の取り組みには、USGA、PGA・オブ・アメリカ、PGAツアー、LPGA、GCSAA、米国クラブ支配人協会（CMAA）、全米ゴルフコースオーナー協会（NGCOA）、米国ゴルフ設計者協会（ASGC）、米国ゴルフコース建設者協会（GCBAA）、オーガスタナショナルGC、米国ジュニアゴルフ協会（AJGJ）そして米国ゴルフ財団（NGF）などが参加しています。この動きは、WGFが動いた結果と

書きましたが、具体的にNGFが発表したゴルフマーケットの将来を危惧したレポートから始まっています。危機の共有です。

このゴルフ振興活動をさらに充実させるためにWe Are Golf（WAG）という組織が2009年に発足しました。活動内容は、アメリカ合衆

国におけるゴルフ業界のプロモーションおよび広報を担当する連携キャンペーンの企画実施です。活動は、ゴルフの経済的、社会的な価値を政府やメディア、一般の人々に対してゴルフのポジティブなイメージとして提供することで、具体的には以下のようなものがあります。

1. ゴルフの経済効果の伝達…ゴルフ産業が国内経済に与える影響や雇用創出のデータを収集し、政府やメディアと共有する。これにより、ゴルフの経済的な重要性を示すことで、業界をサポートするわけです。

2. 政策提言…ゴルフに関連する法律、規制、政策について政府と協力し、業界の利益を代表し、ゴルフの持続可能な成長やゴルフ施設の保護に関する政策提案を行い、業界の発展を支援するとしています。こうした内容に、

お願いではなくて提案することで、業界展望を開こうという積極的な姿勢が現れています。3. ゴルフの普及活動…もちろん基本はゴルフの普及と新しいゴルフアーの育成とその促進であり、そのための取り組みにあり

ます。プロモーションイベントやキャンペーン、教育プログラムなどを通じて、ゴルフの魅力や利点を広く知らせ、参加者の増加を図る。

そして、2021年にAmerican Golf Industry Coalition (米国ゴルフ産業連合会) が、WAGの活動を引き続き形で発足しました。

米国ゴルフ産業連合会

米国のゴルフ振興は、2000年から20数年を経て新たな組織のもとで更に進められようとしています。そこで、産業連合会についてももう少し詳しく紹介します。同連合会の説明によると、活動目的は、「米国ゴルフ産業連合(旧We Are Golf)は、ゴルフの多様性、公平性、包括的取り組み、経済への貢献(地域および国)、健康とウェルネスの利点、慈善事業、環境と持続可能性の取り組みに焦点を当てた取り組みを重視しています。この組織は、ゴルフのビジネスレベルとレクリエーションレベルの両方の活力と多様性を高めることを目的とし、その目標を追求するために、ゴルフ業界の団結を深める」とあります。そして、世界ゴ

ルフ財団(World Golf Foundation)の一部門であると記してあり、発足以来、終始一貫、脈々とゴルフ振興への取り組みが継続されてきたことが分かります。これまでも税制や外国人の就労ビザの問題など重要な立法・規制問題に対する提唱もやってきていますが、ただ継続するだけでなく、新しい発想の元で様々な取り組みが行われています。例えば、「Make Golf Your Thing (ゴルフを身近なものに)」という取り組みでは、業界の多様性や公平性、包括的取り組み(Diversity)、先の三つの意味であるダイバシティ(Diversity)多様性、エクイティ(Equity)公平性とインクルージョン(Inclusion)包括性のこと(す)を重視しているそうです。それは、草の根のゴルフ振興活動(Grassroots Grants Program)の支援にも表れています。黒人、ラテン系、アジア系、先住民、女性、LBGTQ+コミュニティのメンバー、退役軍人、障がい者といったゴルフの普及率が低い人々でのゴルフ参加を増やすことに尽力している慈善団体の支援に力を入れており、草の根支援プログラムがスタートした2021年5月以降で、155団体に180万ドル(約

2億円)が授与されています。こうした活動を支えているのがパートナーということになります。首脳メンバーは、先に挙げたゴルフ団体といくつかの企業の名がありますが、パートナー陣を構成するのは右にある多数の団体、企業です。

ところで、冒頭にワシントンDCにゴルフ関係者が大集合したと書きました。その活動がTwitterに挙げられています(前頁参照)。一部を紹介しましたが、議員に対するロビー活動だけでなく、写真にもあるように議事堂前の芝生の整備も活動の一つです。

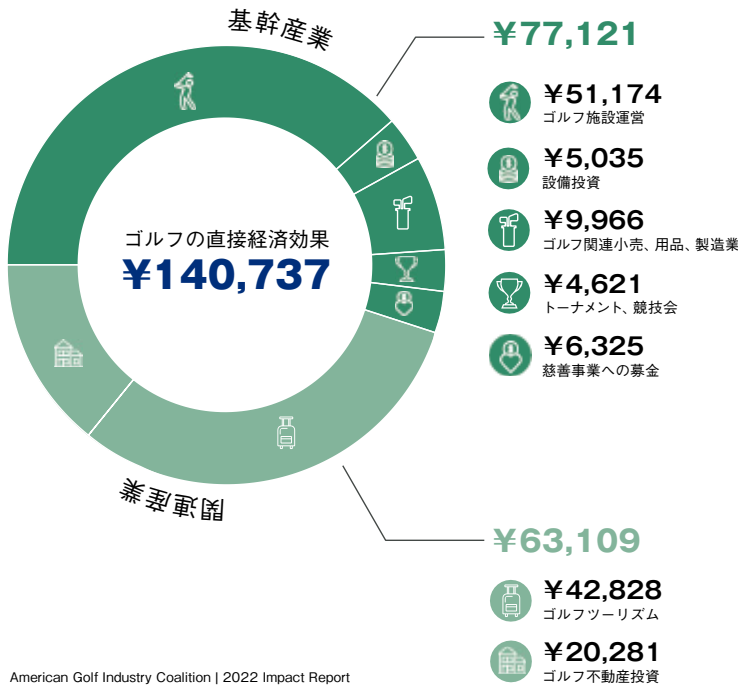
こうした活動に、日本とどこかが違うと思われませんか。Industryという名が付く団体にUSGAがしっかりと参加しています。



ゴルフの直接経済効果14兆円

ナショナル・ゴルフ・デーに合わせて発表された米国のゴルフ産業の経済効果は、ゴルフ関連だけで約14兆円と試算されています。雇用関係や税金などを含めると31兆円だそうです。少なくともゴルフ関連だけで見ても一桁違う経済規模です。集計対象となっているのは、ゴルフプレー関係、投資、用品用具、トーナメント関連、チャリティ、ゴルフツーリズム、不動産関連といった分野です。日米のゴルフ経済規模を相対的に比較することがどれだけの意味があるのかわかりませんが、こうした数字を把握することで、ゴルフが重要な産業だという立ち位置をしっかりと確保して、業界として政府

ゴルフ産業の直接経済効果（億円）



・行政との交渉に臨み、提案をして、ゴルフ環境の改善につなげて

いることはわかりません。日本でも試みはあったのですが、実現していません。しかし、ゴルフ振興を進める上では目標設定を含め数字の把握は欠かせません。そして経済活動の基本は人口です。米国は日本と違い人口の減少は起きていませんから、参加率を上げれば人口は

American Golf Industry Coalition | 2022 Impact Report

セグメント別米国ゴルフ直接経済規模（推移）

中核産業	2000	2005	2011	2016	2022	年平均成長率
ゴルフ施設運営	2,827,423	3,869,773	4,118,083	4,747,825	5,117,393	1.3%
ゴルフ場の設備投資	1,077,665	493,585	285,970	297,420	503,518	9.2%
新規コース建設	778,866	195,751	71,182	28,970	19,451	-6.4%
既存施設への投資	298,800	297,834	214,788	268,451	484,067	10.3%
ゴルフ関連用品	825,217	848,530	777,900	833,632	996,551	3.0%
トーナメント、競技会	178,369	232,032	282,108	336,874	462,133	5.4%
慈善事業への募金	441,440	482,963	539,522	543,523	632,501	2.6%
中核産業合計	5,350,115	5,926,884	6,003,584	6,759,274	7,712,095	2.2%
関連産業						
ゴルフツーリズム	1,859,566	2,483,238	2,835,562	3,548,626	4,282,796	3.2%
ゴルフ不動産投資	1,366,257	2,065,525	653,193	1,288,591	2,028,141	7.9%
住宅新築・建替え	1,158,780	1,604,083	433,163	998,068	1,812,387	10.5%
実現されたゴルフプレミアム	207,477	461,443	220,030	290,523	215,754	-4.8%
関連産業合計	3,225,823	4,548,901	3,488,756	4,837,217	6,310,937	4.5%
ゴルフの経済効果	8,575,938	10,475,785	9,492,340	11,596,629	14,023,031	3.2%

単位：百万円

増えます。移民という問題から、人口は大きな問題ではありませんが、日本は人口が減少しますから、今までも同じでは確実にゴルフ人口も半減します。お気づきですよね。

結局、JGAが日本のゴルフ振興の舵をどう取るかに関心が移るのですが、JGA頼みでいいのですか？

なお、2023年のナショナル・ゴルフ・デーに合わせて発表された最新の調査は、2022年のアメリカにおけるゴルフの実態を示しています。報告書は以下より入手できます。

サマリー

https://www.golfcoalition.org/_files/ugd/e10443_63b1f4664d8df1e7bab27128636c14452.pdf

報告書全文

https://www.golfcoalition.org/_files/ugd/e10443_74f0b4605e1144daa7da7f1c2403e9.pdf

American Golf Industry Coalitionのホームページは：
<https://www.golfcoalition.org/>